

V戦士

徳島県バレーボール協会
中学校専門部
「バレー便り」
2008年
春季 第29号

中学校専門部研修会の開催

現在、バレーボール界は大きな変換期を迎えています。それを、多くの方にその現状を知っていただき、これからの方向性を理解・協力してほしいと思っています。

そこで、平成19年度第9回中学校専門部会において「研修会」の開催を決めました。日時や場所については、第2日曜日の4月13日です。午前中に6人制審判規則伝達会（四国大学）が行われるので、終了後で県教育会館で開催することになりました。この研修会において県中学校選手権大会の抽選会を行い、各学校の代表が抽選をしてください。ただし、各先生方において都合で出席できない方もいると思われるので、その場合は中学校内の代理の者が参加してください。

U-14クラブチャンピオン男子バレーボール大会

JVA・・・(財)日本バレーボール協会

昨年、7月26日（日）小松島中学校を会場に第1回大会を開催しました。17チーム（A・Bチームを含む）が参加し盛大に開催することができました。

この大会の目的は、

- 1.小学生が中学生になっても引き続きバレーボール競技に親しんでもらう。
- 2.中学校での男子バレー部が減少してバレー大会に参加したくても参加できない生徒を社会体育での大会の開催することにより救済することにあります。

県内においても中学校にバレー部がないために最寄りの高校や中学校に出向き、練習の参加をしている男子生徒もいます。

本大会は中学校専門部だけでなく、小学生連盟との連携も図らなければなりません。「男子大会」であるからといって男子バレー部顧問の先生だけの取り組みでは運営も十分できません。

開催要項をよんでいただき、多数のチーム参加をお願いします。

平成21年度より全国大会・ブロック大会を実施されます。そうすると、県大会の時点から「日体協指導者資格」などのライセンスが必要になります。昨年度、徳島県で実施されました。今年度最寄りの府県で開催されるのは「高知県」です。愛媛県・香川県も開催予定と聞いていますので、その県体協・バレーボール協会へお問い合わせまたはホームページをご覧ください。

2020年から世界大会の開催の見込みです

徳島県U-14クラブバレーボール委員会

登録の際の加入コード：323600920821

全国ヤングクラブバレーボール交流大会への参加

平成18年度2月の中学校専門部会で、「全中が終わっても毎年、全中に出場するチームがある徳島県にするには!？」ということで議論されました。その結果、「中学2年生を対象にした徳島選抜チームをつくってヤングバレー大会に出場する」ことになりました。昨年は、参加することができませんでした。今年度はそのようなことがないように、綿密に計画していこうと考えています。多くの中学生が『ヤングバレートライアウト』に参加希望し、より優れた徳島選抜チームをつくり、それが経験となって今後の徳島県中学校バレーボール界を活性化させていきたいと思っています。

天皇杯・皇后杯全日本バレーボール徳島大会

5月18日(日)に開催します。[会場未定]ご希望がありましたら、下記へ問い合わせください。

阿部 俊和(徳島県立総合教育センター)

審判員資格の習得

最近では、監督をはじめコーチは審判資格を持つことが義務づけられている競技が増えています。徳島県中学校のある競技においても審判員資格をもたすことを義務づけています。

昨年度より、審判員資格を持っていただく主旨の文書と審判資格審査会の案内をしましたところ、4月に行われたJVA認定C級審判員資格審査会、5月県内審判員資格審査会にはたくさんの参加をしていただき、昨年度バレー部顧問が審判資格持つ割合は約半数にもなりました。指導者としてルールを知ることが競技力向上へとつながっていくことにもなります。

「平成20年度徳島県中学校新人バレーボール大会」より監督・コーチは審判資格を持つことを原則になっていますので、審判資格を持つようお願いします。

知っているつもり！？

(1) 競技規則について

開催要項には、【(財)日本バレーボール協会競技規則による】と記載されています。この「競技規則」とは、(財)日本バレーボール協会が発行する「ルールブック」に掲載されている内容のことです。ただし、実際の大会運営には「競技規則」の他に、「競技要項(財)日本バレーボール協会)」や「日本中体連バレーボール競技部の認めている(または決めている)競技規則」が適応されます。「競技規則」は、「小学生」「中学生」「高校生」「大学」「一般」等の各カテゴリーにより異なります。コートの大ささ、ネットの高さ、ボールの大ささ、アタックラインについてのルール、リベロの人数枠、ゼッケンの大ささなどが代表的なものです。

また、「日本中体連バレーボール競技部の認めている(または決めている)競技規則」では、ベンチへのセンス・内輪やぬいぐるみ等の持ち込みの禁止が決められています。当然、他のカテゴリーの大会ではOKのことが、中学生の大会ではNGになることもあります。以前(約20年以上前でしょうか)は、試合の前後にコートへの入退場がありました。現在は、試合開始前に登録選手全員が並び握手をし、試合終了後はコートに入っていた6人のみがエンドラインに並び握手をすることになっていますが、日本中体連バレーボール専門部は、試合開始前も終了後も登録選手全員が並んで握手をすることとしています。「(財)日本バレーボール協会競技規則」の内容とは別に、日本中体連バレーボール競技部が認めている(または決めている)競技規則があるということを、十分理解してください。

(2) 得点板の位置について

得点板は「主審から見て見えやすい位置」がいいのでしょうか? 「ベンチから見て見えやすい位置」がいいのでしょうか? 答えは、『どちらとも決まっていない』が正解です。徳島県の場合は「主審から見て見えやすい位置」に設置する機会が多いのですが、全国的に多いのは「ベンチから見て見えやすい位置」です。

(3) 試合終了後のあいさつについて

試合終了後、相手ベンチに選手たちがあいさつをするということが当たり前となっていますが、しなければならないというルールはありません。あいさつをすることは大切なことですが、

次の試合のチームにベンチやコートを手早く空けることも重要なマナーです。また、試合終了後、主将は直ちに I F (記録審判員)のところにいき、記録用紙の確認後、サインをしなければなりません。次の試合がスムーズに開始できるようにしましょう。

大会におけるコート設営について

以前、コート設営をお願いしても知らんぷりの監督・選手。コートもできていないのに練習をし始める。そんな光景は少なくなりました。しかし、今でも一部の先生・生徒は一生懸命コート設営をしていることをわかっていながら、それまでは観客席に待機してコートができるのを待ってからフロアにやってくる。コート設営をいつもよくしてくれる先生からクレームがあります。また、中学校の大会であるにもかかわらず、審判依頼(のみ)を依頼した徳島県バレーボール協会役員の方がせつせとコート設営する横で練習をしている選手、させている監督・コーチ。何も思わないのでしょうか？中学校の大会は一般・実業団の大会と違い、教育の一環として行っています。中学校の大会は中学校の者がつくり運営していくものではないでしょうか！是非、先生も生徒も一緒にコート設営に参加し、試合が終わったら一緒に片付け、ゴミ拾いをしてください。

ラインジャッジについて

(1) ラインジャッジのレベルアップを！

全中徳島大会が開催されたとき、多くの方からラインジャッジについて高い評価をいただきました。大会毎にお願いしていることは「しっかりしたラインジャッジ」ということですが、決してそうではありません。また、1セット毎に交代するチームもありますが、ラインジャッジは審判員です。審判員が交代することはできません。各監督がもっと練習試合から気を配ってラインジャッジのレベルアップになるよう練習させてください。ラインジャッジがしっかりしたジャッジができる秘訣は、「ジャッジした後、『間違いない』と主審の方に目で伝える」ことです。

(2) 第1試合のラインジャッジについて

平成19年度第9回中学校専門部会で、競技委員会から「現在、第1試合のラインジャッジを第2試合から2名ずつ出しているが、アップもう十分できないという意見があるので第3試合からだしてはどうか？」という意見がありました。そこで、今回の『平成20年度徳島県中学校バレーボール選手権大会』で【大会初日・2日目は第3試合からラインジャッジ2名ずつです。最終日は第2試合からラインジャッジ2名ずつです。】ことを試行し、その後の中学校専門部会で継続するか、しないかを決定します。間違わないようにしてください。

会場について

(1) トラブルについて

開催要項の「その他」の事項に必ず、ゴミの片付けについて明記してあります。しかし、ゴミをそのままにしてあったり、ゴミを床や会場敷地内の植え込みなどにわからないように捨てていたりして、大会終了後、会場からクレームの連絡があったりしています。このように、一部の人の行為によって、会場へ多大な迷惑をかけていることを、再度、保護者の方を含めて連絡してください。

さらに、もっと困っていることは駐車場の問題です。去年の県中学校総体会場のサンフラワードーム北島において、管理者のご厚意によりグラウンドを駐車場として提供していただいたにも関わらず、わがまま勝手に駐車し車の移動ができなくなったり、なかには管理者に対して暴言を吐くような非常識な人もいました。我々にも駐車場に対する認識の甘さもあったことは確かです。そこで、急遽、駐車場係を設け、炎天下のなか駐車場の管理をしました。また、ある競技の大会

